



<ベトナム・リサーチ・特別レポート>

情報提供用資料

2020年3月5日

ベトナムでの道路インフラの整備

ベトナムでは国全体を発展させるインフラ・プロジェクトとして、港湾、空港、高速鉄道とともに、高速道路を軸とする幹線道路の整備が加速している。

ベトナムの道路総延長は約29万5,000kmである。その内、高速道路は全体の0.3%相当の977kmにとどまっているが、2020年～2030年に21路線、総延長6,411kmの高速道路網を整備する計画がある(投資総額は約1726.8兆ドン(約746億ドル)と推定)。さらに2030年～2035年に向けて、ベトナム交通運輸省は新たに全長1,365kmの高速道路8路線の建設計画を追加申請している(投資総額は182.3兆ドン(約79億ドル)と予測)。

越境経済回廊とともに国内の幹線道路も整備が進んでいるが、道路舗装率は中央政府管理下の道路で約85%、その他農村などの地方道では約69%となっている。加えて、道路交通と鉄道・航空といった他の交通手段との結節性の未整備や資金不足による工事進捗の遅れなど、改善の余地が多くある。

【国際経済回廊】

ベトナムは、中国、ラオス、カンボジアと陸続きであり、今後のインドシナ地域の経済発展に鑑み拡大メコン圏(GMS)諸国とベトナムを結ぶ越境道路網の整備が注目されている。

・東西回廊:インドシナ地域をベトナム中部から東西に横断する運輸インフラで、東側のダナン港からラオスとタイを横断し西側のミャンマー・モーラミヤイン港にいたる全長約1,481kmのルートである。

・南部回廊(第二東西回廊):南部回廊の主要ルートはミャンマー・ダウェイからタイ・バンコクとカンボジア・プノンペンを経由してベトナム・ブンタウを結ぶ全長約1,076kmの回廊である。加えて、インターコリドーリンク1,149km、南部沿岸1,000km、北部サブコリドー1,609km、中央サブコリドー1,076km等カンボジアや近隣諸国との接続を改善するためのサブルートもある。

・南北回廊:北は中国雲南省昆明から南はタイ・バンコクにいたるルートに加え、昆明からハイフォンに至るルート、ハノイから広西チワン自治区南寧にいたるルートの三路線で構成され総延長約4,092kmの回廊である。



〈ベトナムと周辺国との国際物流ルート〉



出所：大メコン圏（GMS）の経済回廊（道路網の視点から）国建協情報 2014 年 9 月号（No.844）掲載

【国内主要幹線道路】

- ・国道 1 号線:ベトナムの南北をつなぐ縦断道路で、全長 2,301km で国内輸送の基幹ルートである。
- ・ホーチミン道路:国道 1 号線に平行する第二の南北幹線道路で、北端のカオバン省から南端のカマウ省までを結ぶルートである(計画の全長 3,183 km の内 2,218 km が竣工済み)。
- ・国道 5B 号線:ハノイとハイフォンをつなぐ約 121km の幹線道路である。以前は渋滞が問題となっていたが、最近ではハノイとディンブー港を結ぶ高速道路やディンブー工業団地とラックフェイン港をつなぐ高速道路が完成するなど、所要時間が大幅に短縮されている。
- ・沿岸道路:クアンニン省モンカイ市のヌイド港～キエンザン省のハティエン国境ゲートを結ぶ全長約 3,041 km のルートである。同路線は海洋資源を効果的に活用し、沿岸地域の社会経済的発展に大きく貢献すると期待されている。



【南北高速道路】

〈南北高速道路の路線網〉



建設計画によると東部ルートと西部ルートの2本で構成され、総延長は3,083kmにおよぶ南北を縦断する高速道路である(一部は開通)。

東部ルートは国道1号線沿いに、ハノイから南部メコンデルタのカントーまでをつなぐ高速道路で総延長は1,814kmである。

西部ルートはトゥエンクアンからキエンザンまでの全長1,269kmで、主にホーチミン道路のアップグレードにより整備される。

国家的なインフラ整備プロジェクトとして、東部ルートの一部(総延長654km、投下資本118兆7,160億ドン)を11区間に分割し整備に着手する予定である。その内3区間は政府予算を建設資金として捻出し、残り8区間は官民連携(PPP)方式となる見込みで、日本を含め国内外の企業が参加の関心を示している。

出所：「Vietnambiz 新聞の資料を基にJVRCが作成」



〈南北高速道路の開通区間〉



【参考資料】ベトナム統計総局、ジェットロ、国際協力銀行の資料・HP

以上